

## 「情熱とともに行事の継承」 ～びわこ学園医療福祉センター野洲 学園祭～

びわこ学園医療福祉センター野洲 第2病棟 生活支援員 伊吹 透



「情熱」と描いた熱気球

10月22日、今年も学園祭が開催されました。今年度の学園祭は円形広場にて各棟のステージ発表や、キッチンカーを利用した模擬店も実施する運びとなり、ご家族やボランティアの方の大きな制限もなく大変賑わいました。

各棟が一堂に会する学園祭は2019年以来です。（第1病棟の皆様は棟内で中継での参加となりましたが）。2019年以降、3年間はコロナウイルスの世界的な蔓延が顕著となり、びわこ学園でも感染対策のため、規模を縮小せざるを得ませんでした。その間、職員の創意工夫の下、各棟でお祭りの催しを実施してきました。2023年によく利用者が知る学園祭を開催できました。こういった規模の学園祭を初めて経験する利用者様、職員もいっちゃったことでしょう。

利用者様のステージ発表では第3病棟利用者様の歌に始まりました。途中気持ちが崩れ泣いてしまわれる利用者様もいらっしゃいましたが、ご自分の番になるとしっかりと歌声を届けていました。第2病棟利用者様のステージは大きなかぶの演劇をアニメのサザエさん風と題して演じていました。何度か経験していることもあり、かぶを引っ張る列を順番に作り、最後まで演じ大きなかぶを収穫することができました。その後は学園祭のテーマとなった情熱と題した熱気球を膨らませ、円形広場をまわりました。

また、今年びわこ学園創設60周年というタイミングも重なりました。熱気球は午後に第1病棟の中庭に設置され、そこで第1病棟の利用者様は写真を撮るなど棟内でも楽しめるように工夫をしました。模擬店では各ブースにて地元のお店のご協力を得て実施となりました。たくさんの方が利用され、見事に完売となりました。マッサージのブース、販売のブースなどもあり、和やかな空気に包まれていました。また、旧知の職員さんとの会話も弾み、利用者様の笑顔や、楽しんでいる様子も伺えました。



HAMORI-BEさん

午後よりHAMORI-BEさんのコンサートが爽やかな日差しの中開催されました。馴染みのある童謡のメロディーが流れると共に口ずさむ利用者様の姿や、ニコニコと笑顔で聞いたり、身体を揺らして聞いたりなど様々な姿がありました。円形広場に来ることが出来なかった利用者様には工夫を凝らし、各棟でライブ中継を放送し、歌声を届けるようにしました。終了後は感謝の気持ちを込めて、利用者様から花束、第2病棟の活動にて利用者様が作りあげたろうそくを加工したものをプレゼントしました。

また、HAMORI-BEさんとその関係者の方に利用者様から歌のプレゼントもしました。最後までしっかりと歌い上げると自然と会場から拍手が起こり、和やかな雰囲気にも包まれ終わりを迎えました。全棟が揃うことは叶いませんでしたが、午前、午後と有意義な時間を創意工夫のもと作ることができ、本当に良かったと思います。最後に夏祭り、学園祭のために協力して頂いたボランティアの皆様、地元のお店の皆様、HAMORI-BEの皆様、職員の皆さんに感謝申し上げます。また、ご家族様にはこの3年間ご不便をおかけしましたが、ご理解とご協力を賜りありがとうございました。そして、楽しみに待って頂いた利用者の皆様、絵を描いて頂いた利用者様、ステージに参加して頂いた利用者様、思いおもいに参加して頂いた利用者様、ありがとうございました。皆様それぞれの情熱が今年の学園祭を大いに盛り上げ、最高の思い出になったのであれば幸いです。



コンサート中の様子